

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 30 日

事業名称		高齢者住宅事業費[高齢者住宅事業]									
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業番号	6
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	高齢介護 課					高齢福祉 係			課長名	伊野宮 崇	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 2		
【施策名】 高齢者保健福祉の推進								総合計画書(ページ)	51		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 (市借上げ) 市内に引き続き1年以上居住し、住宅に困窮し、かつ、自力による住宅の確保が困難な単身高齢者または高齢者のみの世帯。 (都営) 都内に3年以上居住し、住宅に困窮し、かつ、自力による住宅の確保が困難な単身高齢者または高齢者のみの世帯。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 単身高齢者世帯数・高齢者のみ世帯数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 高齢者が安心して生活できる住宅を提供することにより、高齢者の生活の安定と福祉が増進している。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 供給住宅数					
	③ そのために何をしましたか。 緊急通報システムとバリアフリー設備がついた住宅(シルバーピア)を高齢者に提供する(都営住宅には、高齢者在宅サービスセンターが併設している)。また、住宅には管理人(ワーデン)が居住し、住宅の維持管理、入居者の安全確保及び日常生活の相談・助言を行い、高齢者が安心して生活を送れるための配慮をしている。現在、市内にはピア芋窪(借上げ市営)・ピア向原(都営)、ピア清原(都営)の3か所に計4棟・55戸のシルバーピアが整備され、4人のワーデンが配置されている。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 事業費総額					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	世帯	単身高齢者世帯 5,865 高齢者のみ世帯(推計)4,670 H29.4.1現在	単身高齢者世帯 6,093 高齢者のみ世帯(推計)4,742 H30.4.1現在	単身高齢者世帯 6,279 高齢者のみ世帯(推計)4,798 H31.4.1現在					
	成果指標	②の数値	戸	55		55					
	目標	②の目標値	戸			55		55		55	
目標値設定の考え方 入居する高齢者の生活を支援するため、前年度実績を目標とした。											
3 経費	事業費(実績)		円	21,633,886	21,585,467	20,877,353					
	財源	一般財源	円	13,439,237	13,245,357	12,488,663		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
		特定財源	円	8,194,649	8,340,110	8,388,690					
		(うち受益者負担)	円	2,291,149	2,440,110	2,413,690					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.10		0.10					
		所要人数(再任用)	人	0.0		0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	825,300	824,400	831,000					
	職員人件費(再任用)	円	0		0						
事業費+人件費		円	22,459,186	22,409,867	21,708,353						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成6 年度								
	(2) 環境の変化		介護保険制度の充実をはじめ、サービス付き高齢者向け住宅など、新たな高齢者住宅施策が進み、一般民間住宅のバリアフリー化も進展していることから、シルバーピアといったこれまでの高齢者住宅施策の必要性はやや低下してきている。								

事業名称	高齢者住宅事業費[高齢者住宅事業]				
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	市の借り上げ住宅において、平成28年度末に空き家となった高齢者のみ世帯が2戸あり、平成29年度中に1世帯入居。平成30年度、平成31年度に募集をかけ、応募はあったものの、辞退。平成31年度末現在、1戸空き家となっている。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)				
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()			
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点					
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)				
	市の借り上げ高齢者住宅について、借上料及び借上期間終了後の方向性について検討する必要がある。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。				
	現在の借り上げ料について現状に合わせて試算し、所有者と調整を図った。				
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)					
市の借り上げ高齢者住宅の空き家状態の解消。					
8	施策貢献状況(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)				
施策名： 高齢者保健福祉の推進					
<input type="checkbox"/> なっている <input checked="" type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)					
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)				
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止				
	【取組内容】 市の借り上げ高齢者住宅の空き家状態の解消し、借上期間終了後の方向性含め高齢者住宅施策内容について検討する必要がある。				
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
市の借り上げ高齢者住宅の空き家状態の解消のため、随時入居者募集を行う。					